

食品中の放射性物質に関わる行政の調査結果及び関連情報
(9月18日～10月5日の情報)

1. 行政による放射性物質検査

福島第一原発事故が発生して以降、行政による検査が継続的におこなわれています。9月18日から10月5日までに19789件の検査がおこなわれました。基準を超えたものは8件でした。(厚生労働省のホームページから報告されている放射性物質検査の結果の概略から)。以下特徴についてまとめています。

2. 検査結果について

(1)検査結果の概要

1. 検査結果の抜粋(9月18日～10月5日の間に検査された検査結果)です。

※検査を全国の都道府県で実施されていますが、ここで公表するのは福島県に隣接する県、もしくは、その週に基準を超えたものが発表された都道府県とします。

	都道府県名	検査数	基準超 合計	今週基準を 超えたもの		都道府県名	検査数	基準超 合憲	今週基準を 超えたもの
福島県	農産物	542	0	—	栃木県	農産物	62	0	—
	畜産物	936	0	—		畜産物	2581	0	—
	水産物	416	0	—		水産物	7	0	—
	牛乳乳児用食品	21	0	—		牛乳乳児用食品	8	0	—
	野生鳥獣肉	0	0	—		野生鳥獣肉	78	0	—
	飲料水、その他	61	2	キノコ加工品		飲料水、その他	0	0	—
宮城県	農産物	191	0	—	山型県	農産物	57	2	野生きのこ
	畜産物	1601	0	—		畜産物	487	0	—
	水産物	118	0	—		水産物	349	0	—
	牛乳乳児用食品	5	0	—		牛乳乳児用食品	0	0	—
	野生鳥獣肉	13	0	—		野生鳥獣肉	0	0	—
	飲料水、その他	5	0	—		飲料水、その他	2	0	—
茨城県	農産物	54	0	—	山梨県	農産物	21	4	野生きのこ
	畜産物	1228	0	—		畜産物	34	0	—
	水産物	63	0	—		水産物	0	0	—
	牛乳乳児用食品	10	0	—		牛乳乳児用食品	0	0	—
	野生鳥獣肉	0	0	—		野生鳥獣肉	0	0	—
	飲料水、その他	9	0	—		飲料水、その他	4	0	—

表2. 福島県で採取された沿岸魚の検査結果の傾向(2013年3月26日の検査結果とここ最近の検査結果の比較)

検査結果判明日	検出限界以下となった割合	基準は超えていないが、何らかの数値が検出された割合	基準を超えた割合
2013年3月26日	52.6%	41.4%	5.9%
2018年 2月25日	98.9%	1.1%	0.0%
2018年 3月 4日	99.3%	0.7%	0.0%
2018年 3月11日	98.1%	1.9%	0.0%
2018年 3月18日	98.6%	1.4%	0.0%
2018年 3月25日	98.3%	1.7%	0.0%
2018年 4月 1日	99.6%	0.4%	0.0%
2018年 4月 8日	98.5%	1.5%	0.0%
2018年 4月15日	98.9%	1.1%	0.0%
2018年 4月22日	99.2%	0.8%	0.0%
2018年 5月 6日	100%	0.0%	0.0%
2018年 5月13日	100%	0.0%	0.0%
2018年 5月20日	98.0%	2.0%	0.0%

2018年 5月27日	98.3%	1.7%	0.0%
2018年 6月 1日	100%	0.0%	0.0%
2018年 6月 8日	98.4%	1.6%	0.0%
2018年 6月15日	99.2%	0.8%	0.0%
2018年 6月22日	99.1%	0.9%	0.0%
2018年 6月29日	100%	0.0%	0.0%
2018年 7月 6日	100%	0.0%	0.0%
2018年 7月13日	98.1%	1.9%	0.0%
2018年 7月20日	100%	0.0%	0.0%
2018年 7月27日	100%	0.0%	0.0%
2018年 8月 3日	100%	0.0%	0.0%
2018年 8月17日	100%	0.0%	0.0%
2018年 9月14日	99.5%	0.5%	0.0%
2018年 10月 5日	99.4%	0.4%	0.0%
2017年9月平均	99.5%	0.5%	0.0%

基準を超えた沿岸魚はみつかりませんでした。これで175週連続(約3年)となります。福島県の329検体の水産物(海洋)が検査されました。今週の結果で、放射性セシウムが検出された魚介は2検体でした。

2検体はいわき市のボラ(9.1 ベクレル/キログラム)マトウダイ(14 ベクレル/キログラム)でした。

(2)検査について基準を超えたものについて

①福島県で販売されたキノコ加工品について基準値を超える放射性セシウムが検出された旨、公表されました。

ア. 福島県福島市:マイタケ粉末(160 ベクレル/キログラム)キノコ加工品(190 ベクレル/キログラム)

福島県は舞茸粉末について回収指示と出荷制限措置をとりました。キノコ加工品については非流通品で市中には出回っていませんでした。

②山梨県で採取された野生きのこについて基準値を超える放射性セシウムを検出された旨、公表されました。

ア. 山梨県富士吉田市:クリフウセンタケ(250 ベクレル/キログラム)アミタケ(130 ベクレル/キログラム)

イ. 山梨県鳴沢村:ショウゲンジ(180 ベクレル/キログラム)

ウ. 山梨県富士河口湖町:アミタケ(180 ベクレル/キログラム)

山梨県の上記地区で採取された野生きのこについては、すでに出荷制限措置がとられているため市中には出回っていません。

③山形県で採取された野生きのこについて基準値を超える放射性セシウムが検出された旨、公表されました。

ア. 山形県:サクラシメジ(190,300 ベクレル/キログラム)

当該商品が販売されていた道の駅では9月19日以降に販売された「サクラシメジ」を対象に自主回収を開始しました。また、山形県は、採取地(尾花沢市、山形市)及び周辺市町から検体を採取し、検査を実施します。検査において基準値(100 ベクレル/キログラム)を超えた場合、採取地等の市町に

対して、県は出荷自粛を要請していく予定になっています。

ません。

(3)京都の空間線量(9月18日～10月5日)

京都市の空間線量は(16.9メートル地点)、0.038～0.045 マイクロシーベルト/1時間、1メートルの高さの推計値は0.045～0.054 マイクロシーベルト/1時間と

なっています。福島市の空間線量は(2.5メートル地点)は0.094～0.11 マイクロシーベルト/1時間(1メートル地点は0.12～0.14 マイクロシーベルト/1時間)となっています。

過去の平均は0.038～0.046 マイクロシーベルト/1時間(2.5メートル地点)となっておりまだ高い空間線量となっています。ただ、岐阜県や愛媛県といった日本でも放射線量の高い地域と比較した場合、1.5倍くらいの値となっています。

3. 関連情報

特にありませんでした。

以上